

人 チーム 制度



総務の立場から建設コンサルタントで働く社員のワークライフバランスを考える

たけもとゆういちろう
(株) 総合技術コンサルタント 竹本雄一郎さん

今回ご紹介するのは(株) 総合技術コンサルタントの管理部で総務の仕事に携わる竹本雄一郎さん。社員の労働環境をより良くするためには、何をしたら良いかを日々考えて仕事をされているそうです。

☒ 総務ではどんな業務をされていますか？

私の所属する総務第一課では、株式管理や商業・不動産の登記管理等の法務業務や、新卒採用・社員研修等の企画・立案、労務管理等の人事業務、その他社内外の広報や施設・文書・備品管理等の総務業務と幅広い業務を行っています。

当社において、『ワークライフバランス』という点に着目した際に特筆すべき取り組みとして『懇和会』という活動があります。懇和会の運営事務を行うことも総務の重要な業務の一つです。

☒ 懇和会とはどういった活動ですか？

懇和会とは『明るく生き生きとした職場づくり』、『会社の健全なる発展』、『社員の地位向上』を目的として、役員・管理職及び一般職相互間で意見を交わし、職場における問題提起・検討を行う会議です。懇和会メンバーは、懇和会の会長1名と各事業所(東京、大阪、仙台、名古屋、広島、福岡)の事業所長から推薦頂いた管理職・一般職を含む18名、運営を担当する事務局1名の計20名で構成されています。メンバーの任期は2年で、年4回活動を行っています。

懇和会は『全社員の和』を理念として、昭和62年4月に発足して以来、約30年に渡り活動を続けて来ました。懇和会は社員同士の相互理解の場としてはもちろんのこと、会社(経営者)と社員との相互理解の場としても機能しており、労働組合の無い当社にとってはその代替機関としての役割も果たしていると思います。

プロフィール

氏名 : 竹本 雄一郎 (29)
所属 : (株) 総合技術コンサルタント
管理部 総務第一課
勤続年数 : 2年目
主な業務 : 新卒採用事務
懇和会運営事務
雇用保険事務
社会保険事務



懇和会の会議の様子

☒ 懇和会ではどのような議論がされていますか？

懇和会で取り上げられる議題はその時々で様々ですが、いつの時代も共通して多く議論されることは残業時間削減・職場環境の改善等の労務関係の議題や、社員の採用や異動に関係する人事関係の議題が多いように思います。最近、特に関心が集まっているのは『ノー残業デーの導入』についての議論です。建設コンサルタンツ協会の要請に応じ、多くの同業他社で実施されていることや、ノー残業デーの実施の有無が業務を受注する上での評価点になってきていること等の社会的情勢の変化により、当社においても導入に対する機運が高まっている様に思います。

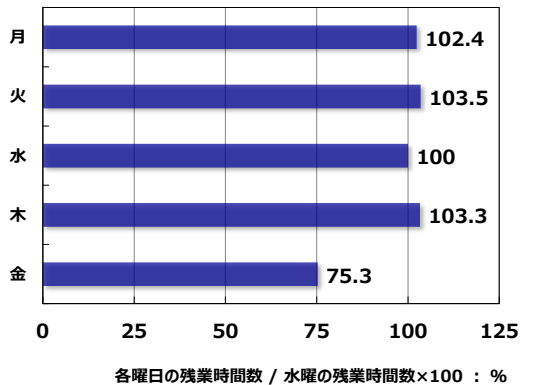
☒ ノー残業デーの導入について、どの様に考えられていますか？

懇和会は会社の施策を決定する会議ではありませんが、会社として実施する指示が出た際にすぐ動けるように常に準備はしています。

協会からの今年度の要請では「6月と10月の毎週水曜にノー残業デーを実施すること」となっています。当社に当てはめた際に実施可能かどうかという問題があります。

ここからは私の個人的な見解になりますが、当社の技術部門の社員の年間の総残業時間が曜日毎にどの様に分布しているのかを調べて見ました。結果を上記の表-1にまとめました。縦軸に曜日、横軸に水曜日の年間の総残業時間に対するその曜日の年間の総残業時間の割合を百分率で示しています。この結果を見ると平日における、水曜日の残業時間は月、火、木曜日に比べ少なく、水曜日に実施しても問題が無いように思います。また当社においては、金曜日の残業時間が最も少ないので、金曜日に実施しても影響が少ないように思います。残業時間を削減するために、最も残業時間の多い火曜日に実施することも考えられますが、その分他の曜日の残業時間が増加する懸念もあります。

表-1 年間総残業時間の曜日別分布



☒ 今後の展望について教えてください。

技術の部署の社員が役所を顧客として業務を行っている様に、私達総務は社員のみなさんを顧客と思って日々、仕事をしています。今後も社員のワークライフバランスを考え、社員がより働きやすい会社となるように取り組んでいきたいと思っています。また、社内研修等の充実についても積極的に取り組んでいきたいと思っています。